

ア国立森林研究所の P. Srivastava 所長をはじめとする関係者の皆様, JICA プロジェクトのチーム・リーダーとして種々ご指導を賜った古越隆信博士, 種苗技術担当の長期派遣専門家(当時)として一方ならぬお世話になった伊藤重右衛門博士, 熱帯の樹病に関する貴重な資料を提供して下さった林業科学技術振興所的小林享夫博士, 熱帯蝶の和名などについてご教示いただいた昆虫研究家の館山一郎氏に, 心からお礼を申し上げます。

〔参考文献〕 1) 小林享夫: 熱帯の苗畑病害 (1). 熱帯林業 1: 57-61. 1984 2) P. SMART 原著. 白水 隆監修: 世界・蝶の百科(解説・資料編) 秀潤社 7 pp. 1978 3) 大塚一寿・丸山清: ボルネオの蝶 Vol. 2, No. 2, セセリチョウ科編 飛鳥建設(株)7 pp. 1991

新刊紹介

◎熱帯地域における育苗の実務 山手廣太著 A 6 版 130 pp. (財)国際緑化推進センター 東京 1993. 1. 31 刊 頒価 800 円(実費・送料)

熱帯林の減少に対応するてだてとして, その再生を急ぐことが強く望まれており, 各地で精力的に植林が進められているが, なお必ずしも十分とは言いきれない。熱帯林の再生にはいろいろな問題があるが, 第一歩は苗木の育成である。苗木育成における問題は, 生産本数が十分でないこともあるが, 植えれば必ず活着するような強い苗木が必ずしも生産されていないことである。いずれにしる, 固有種・外来種を含めて, できるだけ多くの樹種の苗木を, 植栽予定地の環境条件に耐えてよく育つように, 強く育てる技術が望まれている。

本書は, このような視点から, 熱帯造林で用いる主要な樹種の苗木の育て方を, 総論と各論に分けて懇切に解説している。総論では, 苗畑の造成と施設・種子の調達と品質検査・育苗の 3 項に分けて述べ, 各論では, 果樹も含め, 実に 80 種に及ぶ樹種ごとに, 種子の取り扱い・播き付けと移植・管理・山出しについて解説, 果樹では, 簡単な樹木の性状や定植・収穫まで述べている。著者は, 林業におけるプロジェクト協力が開始された草創期から, 育苗技術の専門家として技術協力の第一線で活躍されてきた方で, その間, 湿潤熱帯から半乾燥地にまで長・短期専門家として出かけられ, かけがえのない経験を積まれてきた。本書は, 著者が貴重な経験を踏まえてまとめあげた技術指針書であり, 熱帯樹種の育苗にあたるものにとって必携の書である。 (浅川澄彦)